



送信先：大津・彦根地区報道機関 全2枚
報道関係者 各位

【発信元】：滋賀大学 広報課
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1-1-1
TEL 0749-27-7524 FAX 0749-27-1129
E-Mail koho@biwako.shiga-u.ac.jp

学生発案の「思わず欲しくなる自助具」 完成発表会 開催

このほど、学生が授業を通して制作した自助具が完成しました。つきましては、下記のとおり発表会を開催します。発表会では実際に自助具を使った体験もできます。

「思わず欲しくなる自助具」完成発表会

日時：2022年7月20日（水） 14時50分～15時50分

場所：彦根市北老人福祉センターハピネス（彦根市馬場1丁目5-5）

内容：学生が自作した自助具を発表

＜学生が制作した自助具例＞

片手でも開けられるボトルキャップオープナー、目の不自由な方も遊べる木製遊具、認知症予防のための木製遊具、家に入ってきた虫をつかむ道具、片手で操作できるリモコンホルダー、補聴器など

発表者：経済学部の学生 18名

自助具とは、何らかの障害や病気などによる麻痺、加齢による身体機能の低下などを原因とする動作の不自由を補うための道具や装置のことです。体が不自由な方の生活に密着した道具として食事や更衣、入浴、トイレなど日常の様々な場面で使われます。

春学期授業「プロジェクトB（モノづくりプロジェクト 2022 春「思わず欲しくなる自助具を作ろう）」では、自助具の構想から制作までの一貫した授業プログラムを行なっています。（協力：ひこね自助具開発工房）

学生たちはこれまで、自助具制作をきっかけに、学生同士の共同作業はもちろん、モノづくりの発想やデザインの意味について考え、工作用道具の使い方も学ぶことができました。実際に手を動かしモノづくりをすることで、手や指、皮膚の感覚を呼び起こし、自身のもつ身体感覚を再確認することをねらいとしています。

【リリースに関するお問い合わせ先】

滋賀大学 地域連携教育推進室
彦根市馬場1-1-1
TEL：0749-27-1348

滋賀大学生18名による

モノづくりプロジェクト2022春
思わず欲しくなる自助具を作ろう

完成発表会

ほんとに思わず欲しくなるのか、確認にお越しください

滋賀大学の春学期の授業・モノづくりプロジェクト2022春「思わず欲しくなる自助具を作ろう」では、市内のひこね自助具開発工房グループの協力を得て、自助具の構想から制作までの一貫した授業プログラムを行なっています。

自助具制作をきっかけに、学生同士の共同作業はもちろん、モノづくりの発想やデザインの意味について考えたり、工作用道具の使い方も学んできました。

このほど、学生が制作した自助具の完成発表会を下記にて開催いたします。実際の自助具の体験もしていただけますので、ぜひお越しください。



【制作内容】

- ①片手でも開けられるボトルキャップオープナー
- ②目の不自由な方も遊べる木製遊具
- ③認知症予防のための木製遊具
- ④家に入ってきた虫をつかむ道具
- ⑤片手で操作できるリモコンホルダー
- ⑥補聴器 など...



7月20日(水)
14時50分～15時50分

彦根市北老人福祉センター ハピネス

※事前申込は必要ありませんが、当日の参加状況によっては入場を調整させていただくことがあります。